

日本外傷データバンクへの外傷患者登録と登録データを用いた臨床研究

- ① 対象：当病院に入院された重症外傷症例に関して症例登録を行います。
- ② 研究機関名：奈良県総合医療センター救命救急センター
- ③ 目的：重症患者に行っている診療とその結果に関する情報を、日本救急医学会と日本外傷学会にて作成された日本外傷データバンクに全国規模で広く集積し、各施設における外傷診療のデータを全国データと比較することにより各参加施設における診療の現状を明らかにし、診療の質向上に寄与することを目的とします。
- ④ 方法：個人を特定できる情報を除外した形で、診療に関する種々のデータを日本外傷データバンクのデータベースに登録します。登録はインターネットを用いた入力により行います。
- ⑤ 意義（医学的意義）：集積された全国データを分析することで、どの診療行為が予後を改善し得るか明らかにすること、診断精度の向上、予後予測指標の作成などの研究を実施することによって、本邦全体の外傷診療システム向上に寄与することを併せて目的としています。
- ⑥ 個人情報の取り扱い：氏名、生年月日、を含む個人を特定できるデータは、症例登録の時点で切り離されているため、症例から遡って個人を特定することは不可能です。
- ⑦ 問い合わせ先：奈良県総合医療センター救命救急センター
研究責任者：高野啓佑
電話：0742-46-6001
- ⑧ 研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法：本研究は、介入を必要としない観察研究であるため、症例登録のいかんにかかわらず、治療法に影響は全く及ぼしませんが、症例登録をすること自体の参加の拒否については、主治医への口頭での意思表示、もしくは、電話での意思表示でお伝えいただくことができます。